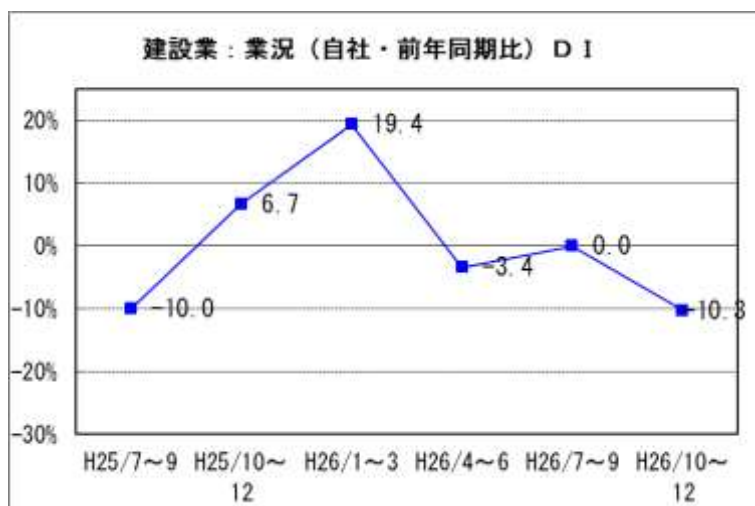


3. 建設業の動向

(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値マイナス10.3。前期の0.0から3.4ポイント上昇した。来期見通しは、マイナス7.4と改善の見込み。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

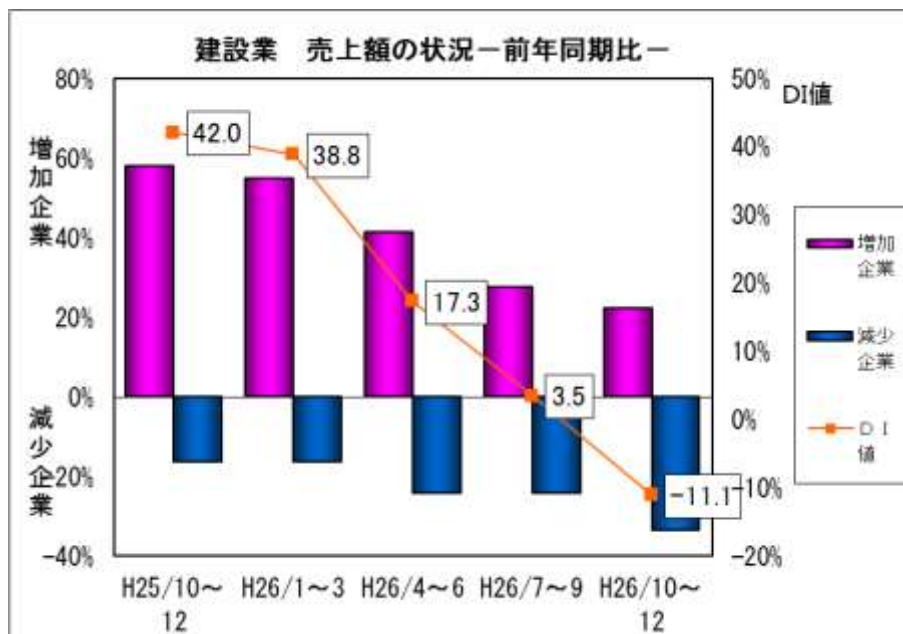
	前々期 (26年4月~6月)	前期(A) (26年7月~9月)	今期(B) (26年10月~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	17.3	3.5	▲ 13.8	▲ 17.3	▲ 6.9
受注額	21.4	▲ 3.5	▲ 11.1	▲ 7.6	▲ 10.7
材料仕入単価	78.6	60.7	64.3	3.6	53.6
採算(経常利益)	▲ 10.3	▲ 25.0	▲ 28.5	▲ 3.5	▲ 20.7
資金繰り	▲ 10.4	▲ 6.9	▲ 17.2	▲ 10.3	▲ 13.8



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I 値は▲11.1。前期の 3.5 から 14.6 ポイント下落している。来期見通しはマイナス 10.7 と若干改善の見込み。



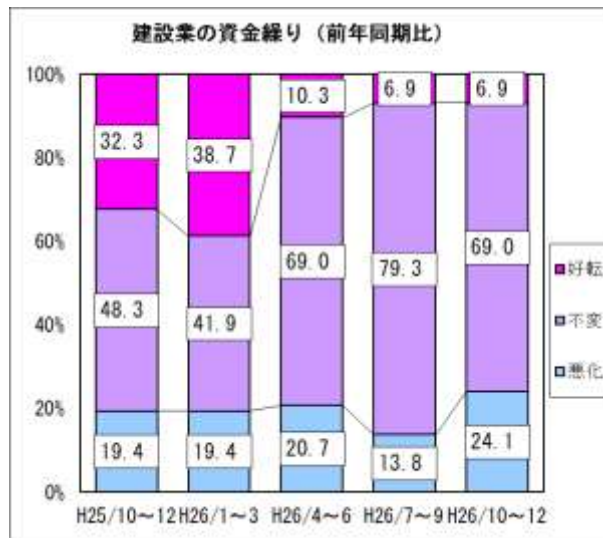
②採算（前年同期比）

今期の採算D I 値は、マイナス 28.5。前期のマイナス 25.0 から 3.5 ポイント改善した。来期見通しは、マイナス 20.7 と改善する見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 17.2。前期のマイナス 6.9 から 10.3 ポイント下落した。来期見通しは、マイナス 13.8 と下落の見込み。

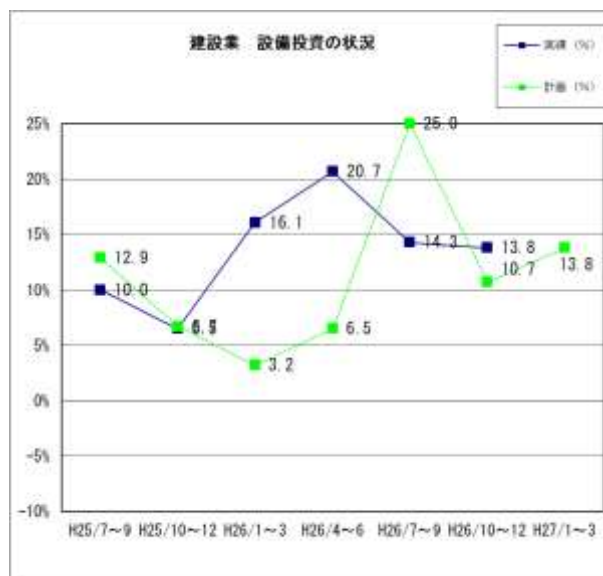


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	4	0	1	1	1	1	1	0	0	24
(%)	14.3	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	85.7
今期実施 (実数)	4	0	0	0	1	1	1	0	1	25
(%)	13.8	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	86.2
来期計画 (実数)	4	1	0	1	3	1	1	0	0	25
(%)	13.8	25.0	0.0	25.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	86.2

今期設備投資を実施した企業は 4 社（13.8%）。前期（平成 26 年 7～9 月期）の実施企業 4 社（14.3%）から増加。来期は 4 社（14.3%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「材料価格の上昇」 (前期 57.7%→今期 61.5%)
- ・ 「下請業者の確保難」 (前期 30.8%→今期 26.9%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 26.9%→今期 26.9%)

となっている。

